

安全・安心な農産物栽培と6次産業化をめざす (法人名:農事組合法人 ファーム・おだ)

＜法人の概要＞

所在地:広島県東広島市河内町

設立:平成17年11月

資本金:982万円 売上高:5,374万円(平成23年)

構成員(議決権):農業従事者128名(100%)

役員:16名(うち農作業従事16名)

従業員数:常時雇用者7名、臨時雇用者7名

経営面積:84.5ha(うち所有0ha、借入84.5ha) 基幹農作業受託面積:0ha

作付作物:米46ha、大豆16ha



当法人圃場の秋のイベント（さつまいも収穫）



転作物の大豆の開封全袋検査

＜営農を開始するまでの状況＞

- ・法人設立経過・・・広島県地域営農課、広島県農林振興センター、広島県農業会議市役所、JA 広島中央、複数の農機具メーカー、商社等の協力
- ・集落法人設立補助事業検討会＋中山間地域等直接支払制度に更なる参加
- ・低金利資金借入れ計画・・・アグリトピアゼロ資金、近代化資金等
- ・最小費用での運営:地元の空き倉庫、空き建屋等の利用の賃貸契約
- ・未整備圃場を含む希望全圃場の利用権設定(地代に差あり)
- ・1年間延50回に及ぶ各種懇談会、研修会、講演会などの会合による合意形成(農家100%参加を目指さない・・・77%参加)

＜特徴的な取組＞

- ・ 農畜産循環型営農モデルの構築・・・飼料米や稲わらロールを畜産会社へ供給、当法人は牛糞堆肥を購入、さらに地区の直売所で精肉等を販売
- ・ 周年型農業（トマト、アスパラガス等の野菜の導入）へ取り組み、仕事の平準化を図り、正規雇用者への賃金確保
- ・ 地域協働参加型の中山間地域等直接支払制度および鳥獣害対策補助事業の取り組みに協力し、地域全体はもとより法人の農産物の被害軽減へ取り組む。

＜今後の農業経営の展開方向＞

- ・ 安全・安心な美味しい農産物生産（特別栽培米などのこだわり栽培を基本とし、減肥・減農薬栽培に取り組む）
- ・ 当地区産の米粉活用による6次産業化を目指した多角経営：米粉パンの製造販売（地産地消の推進）

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

危機をチャンスと考え、出来るだけ公的機関の協力を得て、関係補助事業をくまなく検討してみる。

＜特徴的な取組写真＞



水稻収穫後の稲藁ロール（モーちゃんの餌になり、堆肥に変わって田んぼに帰ってきます）



米、稲わらと堆肥交換の循環型の農畜産モデルの実践